

経営比較分析表

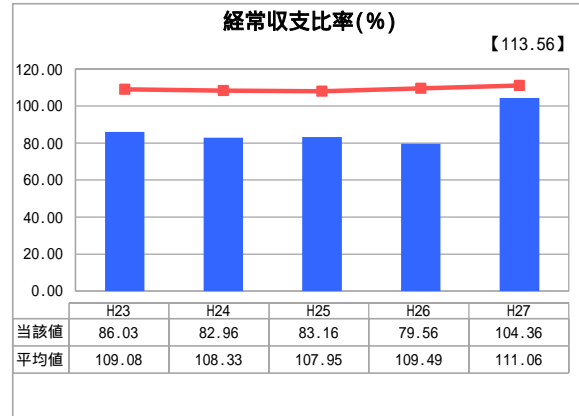
三重県 紀宝町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A7
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	32.05	96.10	3,120

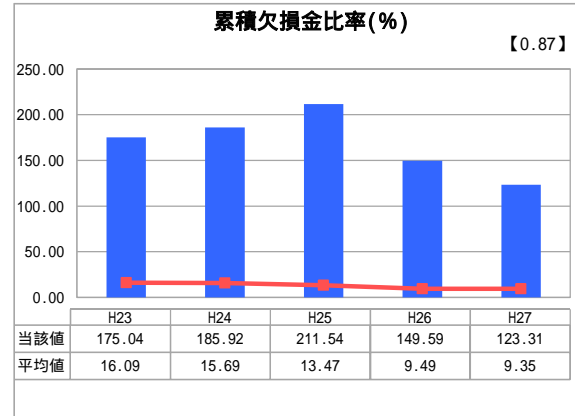
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,537	79.62	144.90
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,990	15.86	692.94

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

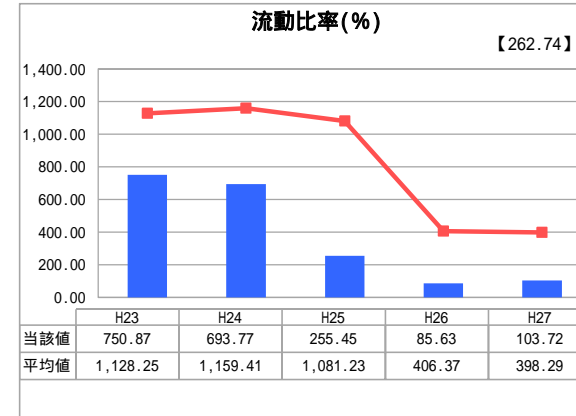
1. 経営の健全性・効率性



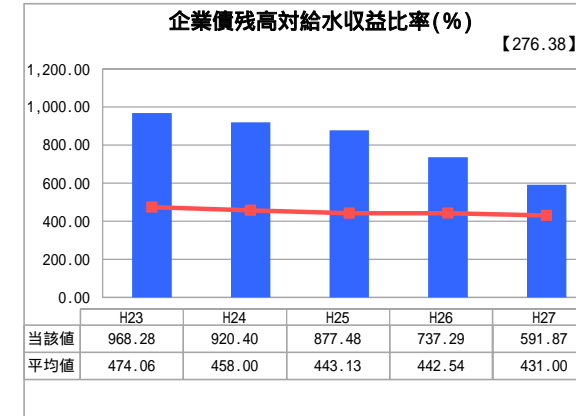
「経常損益」



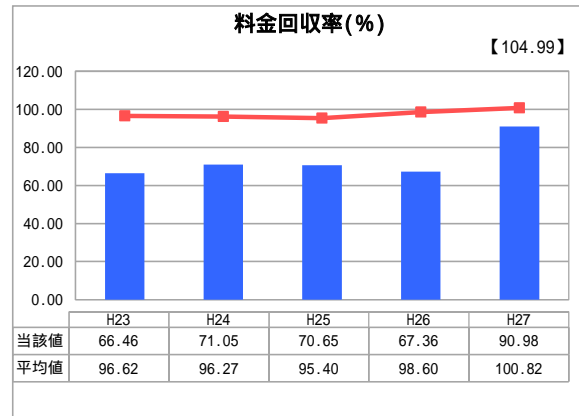
「累積欠損」



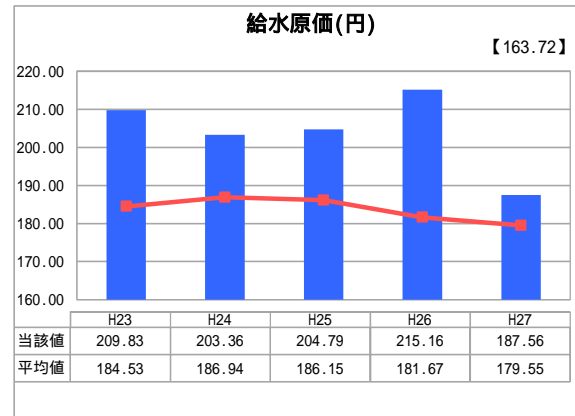
「支払能力」



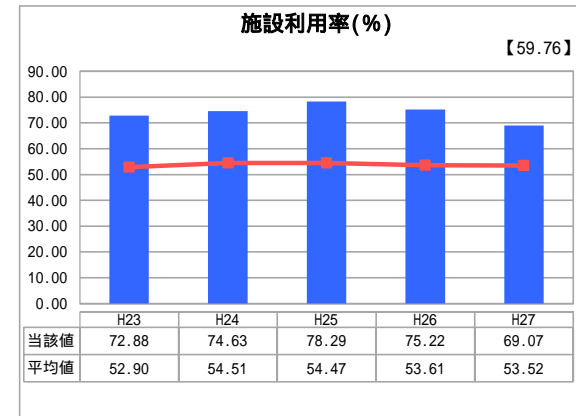
「債務残高」



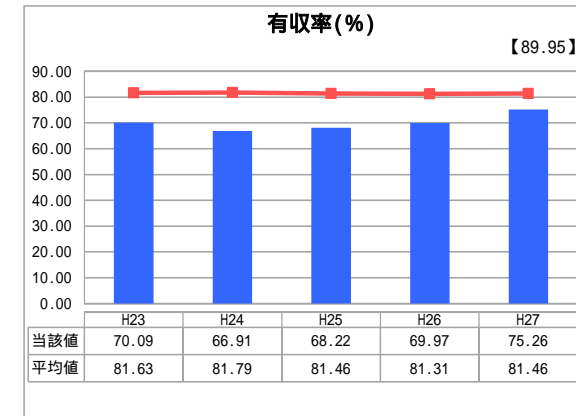
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

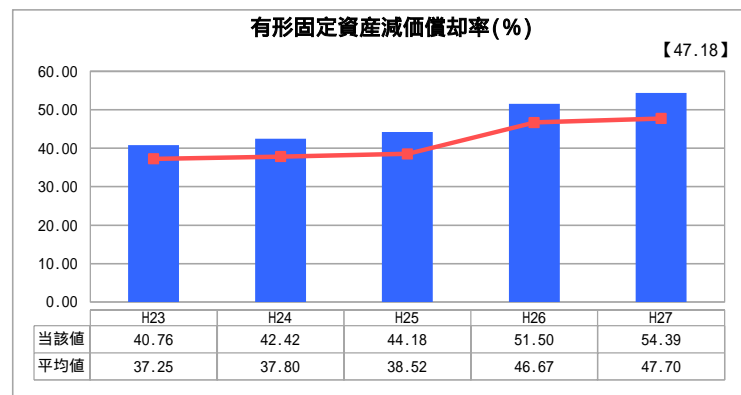


「施設の効率性」

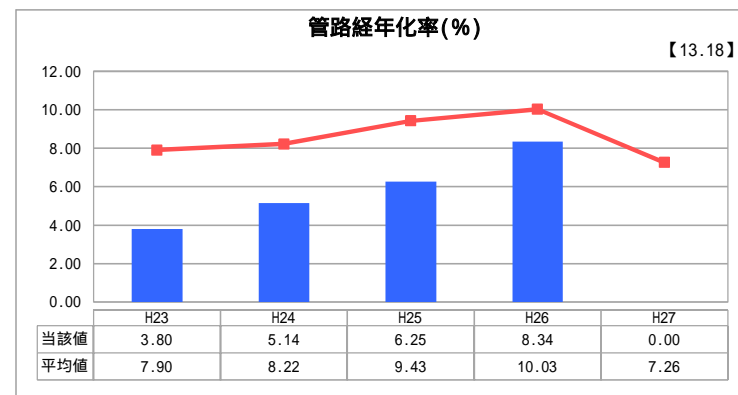


「供給した配水量の効率性」

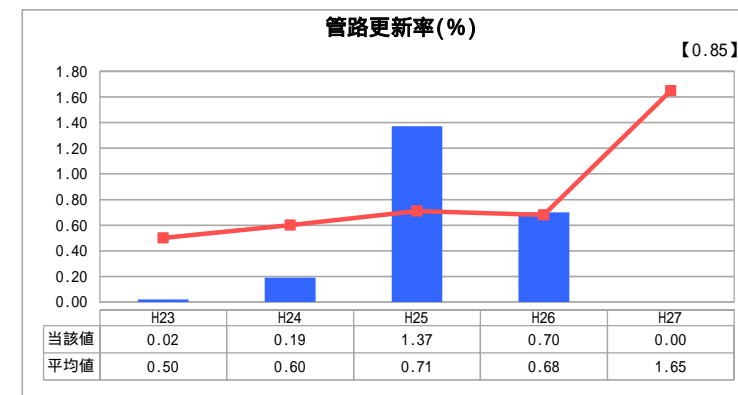
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成27年度5月分料金から料金改定を行い、経常収支比率は100%を上回った。料金回収率も改善が見られたが、類似団体と比べると平均値を下回っている。今後とも、施設の更新にかかる財源などを確保する為にも、経営改善に向けた取組を継続していかねばならない。累積欠損金比率は減少しているものの、まだまだ有している状態であり、0%となるよう経営改善を図っていく必要がある。流動比率においては100%を上回っているが、類似団体と比べると平均値を下回っている。企業債残高対給水収益比率は少しずつ改善してきているが、類似団体の平均値には至っていない。施設利用率については、余裕があり特に問題はないと思われる。有収率も改善はしているが、全国平均、類似団体と比べてもまだ低い状態にある為、有収率のさらなる向上に努めていかなくてはならない。

2. 老朽化の状況について

管路経年率及び管路更新率は、入力誤により0となっているが、管路経年率は10.02%、管路更新率は0.30%である。管路経年率が類似団体より高い水準となっており、管路更新率については、平成25年度・平成26年度以外については更新率が低くなっていることから、管路の老朽化が進んでおり、必要な更新が進んでいないと分析されるので、必要な財源を確保しつつ計画的な更新が必要である。

全体総括

料金改定を行ったことにより経常収支比率は100%を上回り、累積欠損金比率も減少した。今後とも費用の抑制及び収益の確保において改善を行い、累積欠損金比率を0%に近づけるよう努める。有収率についてもさらなる向上の為、効率的に漏水修理を行っていく必要がある。管路の老朽化が進んでおり、必要な財源を確保しつつ計画的な更新が必要である。

平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。